

# 令和5年度第1回唐津市行政改革推進会議 会議概要

## (令和5年12月5日開催)

### 1 議題と主な意見

#### (1) 令和4年度行政評価について

- 単位施策の指標ごとに数値目標があるが、数値の把握が難しいものがある。次期唐津市総合計画における指標項目の選別については、正しく数値化できるものや実態に合った指標を定める必要がある。
- 市内中心部には今にも倒壊しそうな建物が目立つにもかかわらず、民間住宅の耐震診断に対する補助金はほとんど申請されないという評価結果が出ている。空き家問題にも絡んでくるが、果たして市民にとって有益な補助金なのか。

#### (2) 行政評価制度見直し事業について

- 行政評価制度を見直す手段として、職員による日報管理表の作成を開始したとのことであるが、やり終えた業務の結果を記すだけの現在のやり方を改め、スケジュール管理機能を含めた日報管理表にすべきである。
- 日報管理の結果だけ見て各課が能率を判断するのは酷な気がする。スケジューリングというスタートの部分を変える意識が必要である。
- 民間でも日報管理を行うことで業務の棚卸しをやっている。1日の限られた時間の中で、実際に自分が何にどれだけ時間を割いているかが可視化される。
- 業務量を可視化することで、各部署の適正職員数の判断ツールとしたい。

#### (3) 公共施設の使用料改正後の状況について

- 公共施設を利用しない人も間接的に使用料を負担していた状況を改善するため、受益者負担を原則として令和5年4月1日から市内のスポーツ施設、公民館、学校開放施設等の使用料見直しを行った。
- 令和5年4月から9月と前年同月間の実績を比較すると、利用者数は4.4%増の約3万5,000人増加し、料金収入は28.4%増の約2,200万円増加した。
- 料金収入が増える結果になったことは良いことだ。近年は人件費や光熱水費が上昇しているため、引き続き施設個別の収支を注視していくことが必要である。
- インターネットによる公共施設予約システムについては、令和6年3月稼働に向けて調整を進めている。
- キャッシュレス決済についても早く導入すべきだ。

#### (4) その他

- 市内に火葬場が5つもあるが福岡市ですら1つで運営している。20年前から統廃合の話をしているが一向に進展していない。
- 火葬場の維持管理経費について、唐津市民と福岡市民の1人当たりの負担額を比較して、どれだけの税金が投入されているのかを市民に公表すべきだ。情報を知れば賛同する市民が必ずいる。市役所だけで孤軍奮闘して進めるのは困難である。

### 2 今後の対応

会議の結果は市のホームページで公表するとともに、関係各課と共有し、今後の取り組みの参考とする。